

第2回 議会ICT推進研究会 会議結果

令和3年(2021年)12月22日(水) 10:00~11:00 B101会議室

《出席者》 岡田 リーダー（議会改革推進会議委員兼会派きぼう）、
小平 議員（議会改革委員兼新政いいだ）、佐々木 議員（議会改革委員兼会派みらい）、
小林 議員（公明党）、市瀬 議員（日本共産党）

【○説明事項、□意見、★決定事項、◎検討依頼事項】

1 これまでの議会ICTの取り組みにかかる評価・検証について

①アンケート調査の集約状況

★資料のとおり確認した。

○事務局より「これまでの議会ICTの取り組みにかかる評価。検証に関する調査票集約」のポイント的に説明。

②議員の評価からの分析・課題整理

【評価・分析】*以下は、委員からの意見等。

- 議員の現在の（タブレット端末、ペーパーレス会議システムの）使い方はマチマチだということだが、アンケート結果から分かった。
- 議会として最低限必要となっているサイドボックスとLoGoチャットは再研修が必要ではないか。
- （タブレット端末、ペーパーレス会議システムの）現状の使い方から、どうしていくかを考えていく。（タブレット端末等を）使い切っているか、は別問題。
- 再研修は必要。2つのアプリに限ってやってみたらどうか。
- （新議員研修では）聞く一方で、操作不足だった。
- 印刷は課題。そのための自宅での接続も課題。
- タブレット端末等の設定をどこまでやってもいいのか、わかっていない。設定に際しては、メールや、個人情報の扱いが課題となる。
- どこまで活用していいのか、活用の範囲は課題。周知（理解）も必要となる。
- 私用と公用の区別が重要。
- 公私の区分化はあえてしなくていい。
- 私用・公用については、区別を明確化するか、グレーな部分を残すかがポイントになると考える。
- 基本的な操作に不安があるようだ。研修が必要。
- プリンターとの接続、印刷できるようにすることが課題。
- タブレット端末等の導入時くらいにしっかりと研修を再度行う必要がある。
- 会派内や、政務活動での活用も進めたい。
- 印刷の要望もあるが、今後ペーパーレス会議システムへのデータも保存に限界が来るため、ダウンロードも必要になる。議員の自宅等のインターネット環境もあるだろうが、基本的なところや技術的なことの確認が必要。
- 会議資料はA4タテで作成されているが、タブレット端末はヨコ使いが多い。見やすくするために、会議資料の作成、あるいはタブレットの使い方の視点で考えて見たらどうか。
- タブレット端末等を紛失・破損してしまった場合の保証等がよくわからない。

【課題整理】＊以下、大きく3つに整理。

- 1 基本的な操作やアプリの使い方などに不安な議員がいるため、再研修が必要。
- 2 ペーパーレス会議システムなどのデータファイルの印刷の要望や、ダウンロードの必要が出てきている。可否の問題でなく、技術的な課題として対応が必要。
- 3 明確な区別化は難しいだろうが、公私混同を防ぎつつ、個人PCなどの持ち込みを想定すると、私用・公用の整理は必要。

③今後の検証の進め方

★上記②の課題整理の項目ごとに進め方を確認。

- 1 再研修について、議会日程と合わせて、第1回定例会前に設定したい。
- 2 印刷などの技術的なことは、事務局で確認のうえ、議員も検証していく。
また、可能な場合は、周知等についても、今後に検討する。
- 3 私用・公用については、端末やシステムの更新など長期的にみると、検討が必要。